

まえがき

このたびは、ビシャモンの横移動ハンドパレットトラックをお買い上げいただきまして有難うございます。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を熟読いただき、十分にご納得された上でご使用ください。なお、この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失された場合にはすみやかに販売会社にご請求ください。また、製品に貼り付けてある警告ラベル等が剥がれた場合にも販売会社にご請求ください。

<ご注意>

この取扱説明書では、お守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある注意事項は「警告」という見出しの下に掲げてあります。また、お守りいただかないと傷害を負う可能性および物的な損害の発生が想定される注意事項は「注意」という見出しの下に掲げてあります。

<使用環境について>



使用場所・・・屋内
 周囲温度・・・0～40℃ 結露や凍結のないこと
 湿度・・・35～85%
 雰囲気・・・可燃性ガス・腐食性ガス・蒸気・粉塵のないこと

【目次】

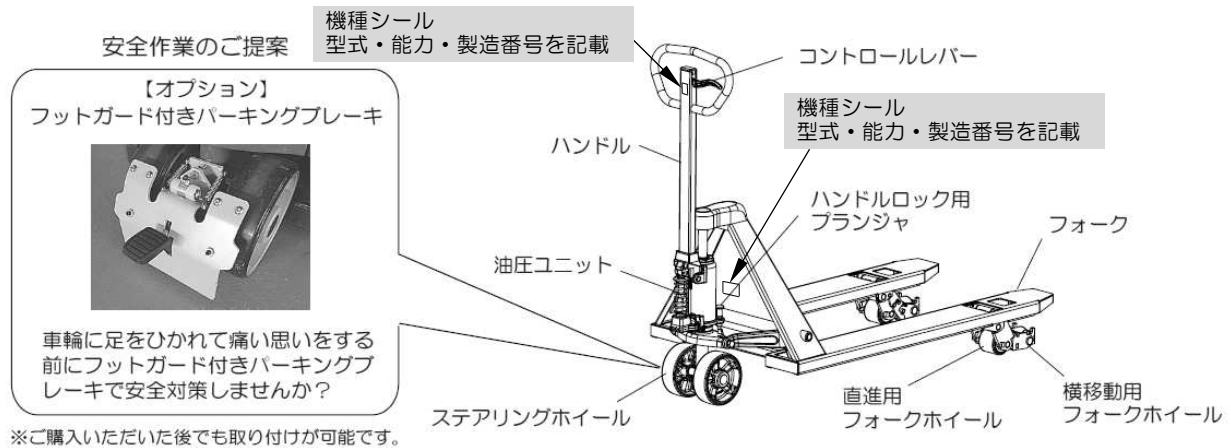
- | | | |
|----------|------------|-----------------|
| 1 使用上の注意 | 5 標準本体仕様諸元 | 9 品質保証規定 |
| 2 各部の名称 | 6 故障と対策 | 10 アフターサービスについて |
| 3 始業点検 | 7 廃棄 | |
| 4 操作方法 | 8 メンテナンス | |

1 使用上の注意

警告	
	
荷物やリフトの下に手や足などを入れないこと。	傾斜地で使用しないこと。
	
移動の時、回転する車輪に近づかないこと。	上に乗らないこと。バランスを崩し転倒します。
	
移動の時は周囲に人がいないことを確認すること。	段差のある場所では注意して移動すること。

注意	
<ol style="list-style-type: none"> 取扱説明書をよく読んで理解してから使用してください。 最大能力を超える荷重で使用しないでください。 フォークを急降下、急停止させないでください。荷物がバランスを崩したり本機が破損します。 片側のフォークや先端など偏った荷重をかけないでください。 改造をしないでください。 取扱説明書に従い必ず点検してください。 耐水仕様になっておりませんので、乾燥した場所で使用してください。 荷物を載せた状態で段差のある床を通らないでください。 周囲の温度が0℃以上 40度以下の場所で使用してください。 横移動での移動中は、コントロールレバーを操作してフォークを下降させないでください。本機が破損することがあります。 使用可能なパレットは単面形のみです。その他のパレットは使用しないでください。本機が破損することがあります。 	
	
<ol style="list-style-type: none"> フォーク等で強い衝撃を与えないこと。本体および各部品が破損することがあります。 フォークの先端や片側のフォークのみで荷物を上げないこと。本体および各部品が破損することがあります。 	
<p>※上記のことをお守りいただかないと、トーションチューブおよびプッシュロッドの曲がり、またはサビの発生、パッキン類の劣化により本体および各部品が破損することがありますので十分注意してください。 (クレームの期間内であってもクレームの対象とはなりません)</p>	

2 各部の名称



3 始業点検

点検は本機を安全にご使用いただくため、また不具合箇所を早期に発見するために大きな役割を果たします。作業を始める前に下記の事項を点検してください。

⚠️ 注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリフトの使用を禁止してください。そのままお使いになると、リフトの破損および事故につながる危険性があります。

毎日作業前に実施してください。

1. 外観上、破損、曲がり、キズはないか。
2. 油圧ユニットから油モレはないか。
3. 上昇後、フォークが自然に降下しないか。
4. 各車輪はスムーズに回転するか。

4 始業点検

1. 上昇

⚠️ 注意

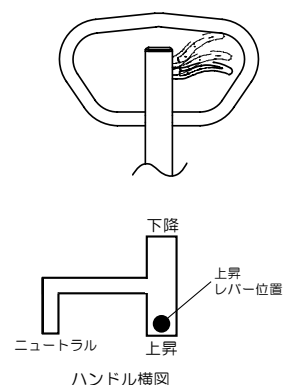
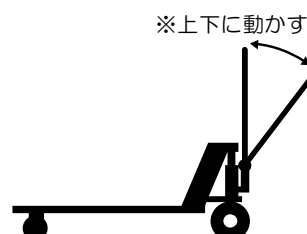
最大能力を超える荷重で使用しないでください。 最大能力 $\left. \begin{array}{l} \text{BMY15S3} \\ \text{BMY15C} \end{array} \right\} 1500\text{kg}$

また、最大能力以下であっても、以下の条件の場合、破損に至る可能性があります。

- ・先端荷重で持ち上げた場合
- ・偏荷重で持ち上げた場合
- ・ワーク重量のうち20%以上がフォークの幅より外に出ていた場合
- ・凸凹面路面での走行や急降下、急停止により衝撃荷重が発生した場合

- ①フォークをパレット（単面形）に差し込みます。
- ②コントロールレバーが上昇の位置にあることを確認します。
- ③ハンドルを上下（※）に動かせばフォークは上昇します。
任意の高さまで数回操作してください。

通常移動：フォーク高さ 150mm 以下
横移動：フォーク高さ 170mm 以上



2. 移動

⚠ 警告

傾斜地で使用しないこと。動きを止められなくなります。

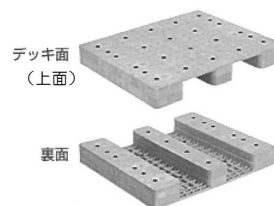
⚠ 注意

- 使用可能なパレットは単面形のみです。一般的に使われている片面使用型、両面使用型を含むその他のパレットは使用しないでください。本機が破損することがあります。
- 横移動での移動中は、コントロールレバーを操作してフォークを下降させないでください。本機が破損することがあります。

【パレットの形状について】

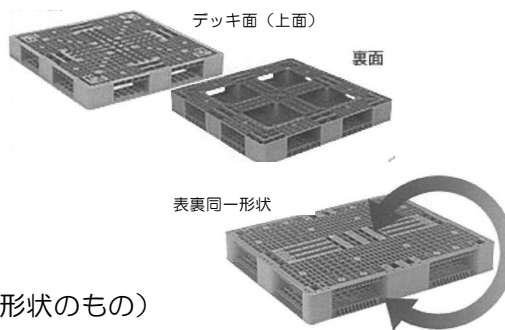
使用可能

- スキッドタイプ
単面型
(裏面がゲタ状になっている)



使用不可

- 一般平置きタイプ
片面使用型
(上面のみ積載できる形状で、裏面は「田」の字構造のもの)
- 両面使用型
(上下面が同一形状で、両面とも積載できる形状のもの)



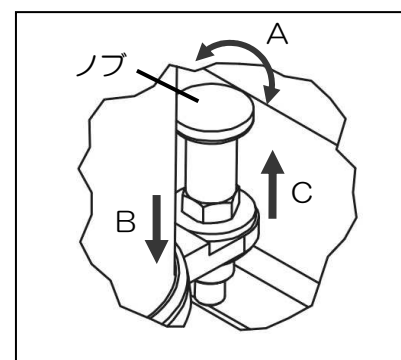
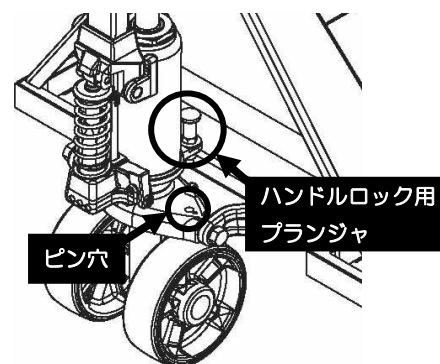
【ハンドルロック用プランジャ詳細】

横移動させる際に、90° 回転させたハンドルを本体に固定させる装置です。バネ機構のプランジャを本体のピン穴に差し込み、ハンドルを固定します。

- ① ピン穴にプランジャの位置を合わせ、ノブを左右どちらかに 90° 回すと(右図A)、ロックが解除されバネの力でプランジャが下がります。(右図B)

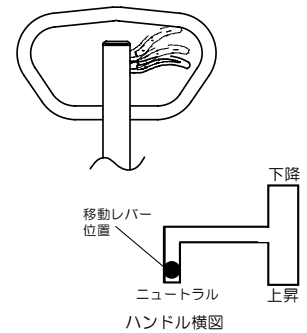
ハンドルの固定を解除するには、ピン穴からプランジャを引き抜きプランジャをロックします。

- ② ノブをいっぱいまで引き上げ(右図C)、左右どちらかに 90° 回すと(右図A)プランジャがピン穴から上に外れた状態でロックされます。



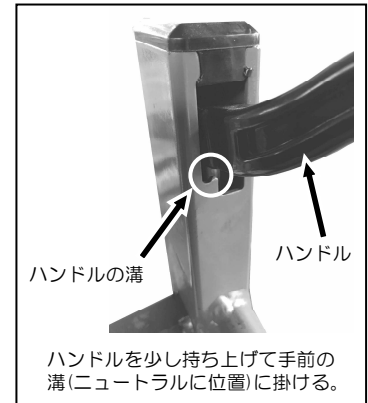
■通常移動の場合

- ①フォーク高さを 150mm以下にしてください。
(直進用フォークホイールが接地します)
- ②ハンドルロック用プランジャをロックしてください。
※ハンドルロック用プランジャ詳細②参照
- ③コントロールレバーを少し持ち上げてハンドルの溝(右図)に掛けます。(負荷が無くなりハンドリングが楽になります)
- ④ハンドルを持ち移動させます。



■横移動の場合

- ①フォーク高さを 170mm以上にしてください。^{※1}
(フォークと一緒に直進用フォークホイールが地面から離れ、横移動用フォークホイールが接地します)
- ②ハンドルを 90 度旋回させてください。
この時、必ずハンドルロック用プランジャにてハンドルを本体に固定してください。
※ハンドルロック用プランジャ詳細①参照
- ③コントロールレバーを少し持ち上げてハンドルの溝(右図)に掛けます。(負荷が無くなりハンドリングが楽になります)
- ④ハンドルを持ち移動させます。

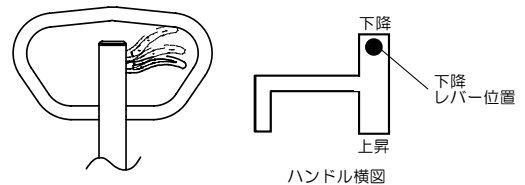


※1…下限からのポンプ回数 定格負荷：約 11 回

3. 下降

⚠注意

荷物やフォークの下に足などを入れないこと。
挟まれてけがをします。



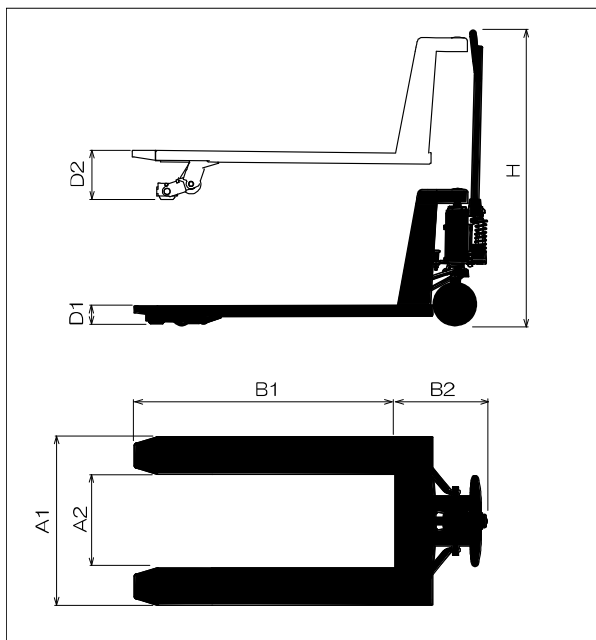
- ①コントロールレバーを慎重に引き上げると、フォークが下降します。安全な速さで下降させてください。

解説

フォークは油圧シリンダーにより保持しています。
油圧機器の性質上フォークは極めて微小ながら下降していきます。フォークが上昇した状態を長時間保持することはできませんのでご承知ください。

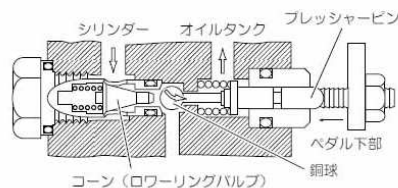
5 標準本体仕様諸元

型式	最大能力	A1	A2	B1	B2	D1	D2	H	自重
	kg	外幅mm	内幅mm	長さmm	長さmm	最低位mm	最高位mm	全高mm	約 kg
BMY15S3	1,500	685	379	600	365	80	180	1,201	74
BMY15C				1,070					84



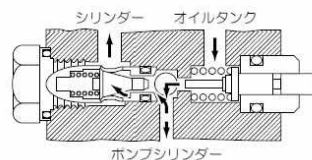
● 下降回路

下降レバーの操作でコーンが押され、作動油がシリンダーからオイルタンクに戻され下降する。



● 上昇回路

ハンドルのポンピング操作により作動油はオイルタンクからシリンダーへ送られ上昇する。オイルはコーンにより止められ逆流しない。



6 故障と対策

故障状況	故障原因	対策方法
上昇しない	作動油不足	作動油の補充をしてください
	プレッシャーピン(95)の固着	プレッシャーピンのオーバーホール又は交換
	バルブスプリング(88)の破損	バルブスプリングの交換
	鋼球(92)のシート不良	異物を取り除く シリンダーベースが傷ついている場合
ポンプ回数 軽負荷だと上昇するが 重負荷だと上昇しない	Uパッキン(80)の消耗 鋼球のシート面が荒れている 鋼球にキズがある	Uパッキンの交換 シート面のボンチング 鋼球の交換
ポンプをすると上昇するが ハンドルを戻すと下降してしまう	コーン(89)とコーンシート(90)の間に 異物が挟まっている	異物を取り除く
	バルブスプリング(88)の破損	バルブスプリングの交換
自然降下する	Uパッキン(76)の消耗	Uパッキンの交換
	コーン(89)とコーンシート(90)のシール不良	シート面のボンチング又は交換
	コーンシートのOリング(91)のシール不良	Oリングの交換
下降しない	プレッシャーピン(95)の固着	プレッシャーピンのオーバーホール又は交換
	ロウリングペダル部の調整不良	調整(101,102)
通常走行時に横移動用フォーク ホイールを引きずってしまう	ワクオサエパネの破損	ワクオサエパネの交換

7 定期点検

本製品の廃棄については、鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油に分別してください。
作動油の処理方法については法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理願います。
ご不明な場合は販売会社へ相談のうえ処理してください。



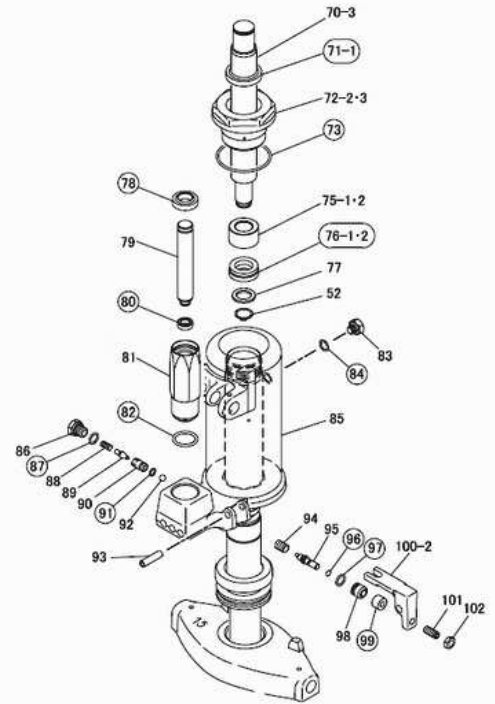
メンテナンス

■作動油について

作動油に異物が混入したり、長期使用しオイルの色が真っ黒になった場合に作動油の交換が必要になります。交換方法や、作動油の種類は下記を参考にしてください。

■油圧作動油の交換

1. ハンドパレットトラックを平坦な場所に移動させます。
2. ハンドパレットトラックを最低位まで下降させます。
3. ポンプユニット側面の給油プラグ(83)をスパナ（17mm）で外します。
4. バックバルブスクリュー(86)の下にオイル受け皿をおきます。
5. バックバルブスクリューをスパナ（17mm）で外します。
6. 本体ハンドルを1回ポンピングします。
7. オイルとともに、バルブスプリング(88)とコーン(89)が出てきます。出てこない時は、ラジオペンチ等を使用して取り出します。
8. オイルが少しずつ出てきます。少し時間が掛かりますがオイル受け皿で受けて、オイルが止まるのを待ちます。
9. コーンの先の尖った方から入れます。
10. スプリングを入れ、バックバルブスクリューを締めます。
11. 下記作動油を約500cc入れて、給油プラグを締めます。
（上限まで上がらない場合は、作動油を追加してください）
12. 一番上まで上昇させて数回ポンピングすると、内部のエアが抜けます。



■各軸受部の注油

基本的に各軸部には、無給油ブッシュを使用しておりますので、注油の必要はありません。

但し、湿気が高い現場や埃の多い現場で使用される場合は、ブッシュの消耗を早めてしまいますので、錆防止、ゴミの侵入防止の為グリスの注入をお願いします。また、ブッシュは消耗品ですので定期的にご確認ください。ブッシュが無いまま使用されますと、重大な故障の原因となります。

⚠注意

修理には非常に熟練を要する作業が求められる場合がありますので、修理の際は販売店にご連絡ください。

安全に使用していただくために必ず定期的にメンテナンスを実施してください。

1. 各軸受部に注油（6ヶ月毎）
2. 油圧作動油の交換（12ヶ月毎）

●油圧作動油の種類 粘度区分 ISO V32 耐摩耗性油圧作動油（使用量：0.5ℓ）

9

品質保証規定

保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保障期間内（納入後3ヶ月以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、区間部品の送付をさせていただきます。

但し、二次的に発生する損失の補償および、次の場合に該当する故障は補償いたしかねます。

1. 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
2. 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
3. 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
4. 火災・地震・風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
5. 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
6. 日本国以外で使用される場合。
7. 保証請求手続きが不備の場合（例：形式および機体番号の連絡が無い場合 etc）
8. 設置に原因がある故障および損傷。

尚、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗部品については保証の適用は除外させていただきます。

保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の要否は大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

10

アフターサービスについて

調子が悪い時	：まずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時は	：商品規定に従い修理させていただきますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	：保証期間は納品後3ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	：お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
補修用性能部品の保有期間について	：本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後10年間です。（性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です）
アフターサービスについての詳細その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。	
型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）	

型 式	
機 体 番 号	No.
購 入 年 月 日	年 月 日
購 入 店 名	社名： 担当者：
	住所： 電 話：
設 置 業 者	社名： 担当者：
	住所： 電 話：
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日 状 況：



<http://bishamon.co.jp> E-mail:sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町4丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844

〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723

〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

その他営業拠点 仙台・前橋・広島・福岡

OM-BMY15 2401@1709-S